

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あかしろきいろ発達支援るーむ（児童発達支援事業所）
------	---------------------------

公表日 2025年12月25日

対象人数（保護者） 6名

回収数 6 (100%)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					法律で定められたスペースを確保しています。引き続き、施設内の美化・整頓に取り組み、子ども達が安全に活動できるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6				手厚いと思います。	実地指導を経て、新たに研修の項目を設けるなどし、過不足のないように配置して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6				トイレの使用マナーなど、子どもが理解できるように可視化してあったり、工夫・配慮が感じられます。	活動内容を白板に書いて提示したり、絵や図を用いた掲示物で利用者が理解しやすいように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					活動中時には、サーキュレーターや空気清浄機を使用すると同時に窓を開けての換気を行っています。また、日々。床拭きや道具類の消毒等を行い、利用者・保護者が安心して通える環境を整えています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				日常生活での困りごとに対し、具体的なアドバイスをいただけるので大変助かっています。	将来の自立を目指して、児幼期では特に、それぞれの課題にアプローチする為の土台作りを主な目的として支援を提供しています。その中で、利用者一人ひとりのそれぞれの成長の課題に応じた支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					運動療育を通して、運動機能や脳の発達を促すと共に、将来の自立に必要な社会性の基盤を身につけられるように、様々なアプローチで支援しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5			1		日々の様子や保護者からのアセスメントを基に、職員全員で情報を共有し、利用者一人ひとりの特性や課題に合わせた個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	6					保護者からの要望により幼稚園、保育園等の関係機関とも連携し、情報の交換を行っています。保護者からのアセスメントや日々の様子を含め、より確度をもった情報から、それぞれの利用者に適した支援を提供しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					個別支援計画は必ず職員間で共有し、職員一人ひとりが利用者の課題や目標を把握し、日々の活動プログラムの中で必要なアプローチを行っています。その内容については日々のサービス提供記録等で家庭にも共有し、ご理解をいただいております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				同じ活動・動作でも方法やルールが違ったり、子どもが飽きずに続けられ、かつ色々な学びを得られるよう工夫していただいている。	毎回4～6種類程度のプログラムを設けています。種目は一緒でも、「進め方」「対応」「強度」「声掛け」に変化をつけ、それぞれの成長の課題に応じた支援を行っています。プログラム内容と意図に関しては、毎回掲示して保護者の方が確認できる環境を整えています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			4		利用者全員が幼稚園や保育所に通われていることもあり、現在は交流の場を設けることは行っていません。
支援の質	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約書と重要事項説明書に明記し、丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明点や疑問点があればいつでもお問い合わせをいただければと思います。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					支援計画をお渡しする際には面談を実施し、支援内容について保護者と共有しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6				保護者会内で勉強会を企画していただいている、情報を得る場面をつくっていただいている。	保護者会での保護者交流に加え、子育てに関する講習を適宜実施しております。その他、定期的な面談やお迎え時、オンライン上でもご家族を支援できるよう体制を整えています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6				活動は保護者が付き添うため、実際の状況を見ながら情報共有を図ったり、家庭での困りごとはその都度相談にのっていただいている。	個別支援計画を基に、特性や課題についての共通理解を図っています。日々の様子については随時共有を行い、サービス提供記録等でもお伝えをさせて頂いておりますので、気になる様子等があればいつでもご連絡ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					定期的な面談を行うと共に、電話やメールでの相談も受け付けおり、即時の対応を心がけています。相談時には保護者の不安や疑問を解決できるよう支援しています。

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				「子どもにとって、このママだからよかったです」と言っていたとき心が軽くなりました。スタッフの皆様が寄り添ってくださるので大変ありがたいです。	将来的な自立を目指して利用者一人ひとりの課題や目標に応じた支援を行っています。時には支援者として保護者の方に厳しい助言をさせていただくこともありますが、子どもの最善の利益を目指すが故とご理解いただければ幸いです。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6					今年度は4月と11月に保護者会を実施しており、保護者同士のつながりを持てる機会を設けています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				困りごとにはすぐに対応くださるので大変助かっています。子どもも相談しやすく本心を話せるような関わりをしてくださっています。	定期的な面談の他、こどもや保護者からの要望があった際や、事業所が特に必要と判断した際に備え、いつでも相談が行えるよう体制を整えています。メールや電話、お迎え時の相談に対しても早期の対応を心掛けており、利用者やその家族の不安や疑問が解消されるよう努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					こどもの特性に合わせて、必要に応じて視覚情報と聴覚情報を組み合わせるよう心がけています。保護者への連絡については、手紙、電話、メール等、媒体を使い分けながら複数回お伝えしたり、必要に応じてリマインドメールを送る等、漏れの無いように配慮しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6					活動内容や自己評価等、適宜掲載しております。また、行事などのお知らせの際は一斉メールや配布物、口頭で漏れないようお伝えしている他、必要に応じてリマインドも行っています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					個人情報は適正に取り扱い、社内システムのセキュリティのために必要な措置をとっています。また、見学者やボランティア、研修受講者など外部の人を迎える場合は、必ず注意事項に同意いただいたから参加していただくことを義務付けています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					厚生労働省の指示に従い、各種マニュアルを整備しています。保護者に対しては、重要事項説明書に記載して説明済みです。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6				活動時間内に行っています。	避難訓練は年に2回行っています。避難場所や緊急時の連絡方法についても保護者に周知しています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					毎年、安全計画を作成し、事業所のホームページにて公表しております。また、安全に関わる各種マニュアルを整備し、いつでも閲覧できるように入り口付近に設置しております。定められた研修の他、日々のヒヤリハットの共有等、利用者が安心して支援を受けられる環境を整えています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					怪我や体調を含む子どもの変化については、すぐに口頭もしくは電話、メール等でお知らせをしています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	6					今後も子どもたちが安心できる環境整備を進めて参ります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5			1		運動療育を通して「出来た」と感じられる体験をたくさん積んでもらっています。毎回、自信を得て帰っていくので、子ども達にとっても心地の良い環境なのだと思います。
	29 事業所の支援に満足していますか。	6				細やかな配慮に大変感謝しております。些細なことも相談にのってくれたり、具体的な声かけや行動についてサポートいただけるので、困りごとが少しづつ減っています。今後ともよろしくお願ひいたします。	日頃より、事業所の運営にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。子どもたちの自立のため、引き続きよろしくお願ひいたします